



さあ

じっせんしてみよう

使徒1:14

この人たちは、婦人たちがイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

アメリカのリーダーシップ専門家ポール・マイヤーは、成功する人と失敗する人のちがいについて、このように話しました。「成功する人は、知っていることを実践する人で、失敗する人は知っていることを考えるだけの人だ」これは霊的にも同じです。伝道しなければならないと考えただけしているのではなく、家族、親戚、友だち、町内の人など、いろいろな人に福音を伝えてみましょう。みなさんは、どこの町に住んでいるのですか。まず福音の目で自分の町内を一度見てみましょう。いつもけんかをよくするとなりの家、よく行く文具店、スーパーマーケット、私たちの学校など、霊的に新しく見える部分があります。福音が必ず必要な所なのに、目によく見えなかった死角地帯、伝道の門が多い黄金漁場、福音が入らなくて苦しみに陥ってしまった災い地帯が見えるようになります。神様がレムナントのみなさんをその地域に住むようにされた理由がたしかにあります。イエス・キリストを表わして自慢するようにしてください。私を通じて私たちの町内に神の国が臨んで地の果てまで証人になる祝福を味わうことを神様は願っておられます。

3 Today

★さようの
みことば
Ⅱれきだい15

★さようの
いのり

★さようの
でんどう

2011. 12. 17 (伝道学メッセージ)

めいろ

自分の地域が死角地帯、災い地帯でしょうか。レムナントが地域の暗やみの勢力を打ちくれば、黄金漁場に変わります。めいろをとって、福音が必要な現場を考えてみましょう。



私の地域で、私の生活で福音を伝えさせてください。福音の目で私の現場を見させてください。ただ、福音でだけ、死角地帯と黄金漁場、災い地帯を生かすことができますように。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



All-in オールイン

しゅつ 出 3:16~18

それで、わたしはあなたがたをエジプトでの悩みから救い出し、カナン人、ヘテ人、エモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の地、乳と蜜の流れる地へ上らせると言ったのである。

ある人が畑で仕事をして、土地の深くに埋められた宝物を発見したあと、全財産を売って宝物が埋められた畑を買いました。その人は、宝物を手に入れるために、自分のすべてをオールインしたのです。

オールイン (All in) とは、あることに自分のすべてを注ぎ込むことを言います。私たちは何をもっとも価値があるように思って、オールインしなければならないのでしょうか。福音の力を体験することに最高の価値をおかなければなりません。エジプトの奴隷であったイスラエルの民が、羊の血 (イエス・キリスト) を塗る日、エジプトを出る救いを体験しました。また契約の箱 (神様のみことば) について行くとき、ヨルダン川が分かれて、エリコの城壁が崩れる奇跡も体験しました。福音の力を体験できなければ、カナンの地を征服することができません。カナンの地 (世界福音化) に向かっていく私たちにも、ヨルダン川とエリコの城壁のような問題と事件が生じることがあります。そのときごとに福音を黙想して、神様のみことばを握りましょう。すべてのことは、福音の力を体験する機会なのです。

3 Today

きょうの
みことば
『れきだい16』

きょうの
いのり

きょうの
でんどう

2011.12.17 (核心訓練メッセージ)



主、離れしこの身

かんにちさん び か はん
韓日讃美歌331番

カークパトリック (Kirkpatrick)

ふつうに



この曲はカークパトリック (W.J.Kirkpatrick) という作曲家が聖歌の指揮者として、合唱作曲家として活動しながら、作った聖歌の中の曲です。彼は、復興集会で神様を信じるように心から祈っていた未信者のギター演奏者が、この曲を演奏するようにしたところ、この曲を演奏したギター演奏者が終わってからひざまずき、どうしようもなく涙を流しながら神様の前に悔い改めるようになりました。そのように、人の心を変える賛美の力を味わうレムナントになるように祈ります。文_子供賛美作者チェ・スジン講師



もっとも価値があることを見ることが出来る目を開いてください。もっとも価値があることを選ぶことが出来る知恵もください。オールインすることが出来る信仰と大膽さをください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



モーセおじいさんも
しっばい したのですね!

民20:10~13

しかし、主はモーセとアロンに言われた。「あなたがたはわたしを信ぜず、わたしをイスラエルの民の前に聖なる者としなかった。それゆえ、あなたがたは、この集会を、わたしが彼らに与えた地に導き入れることはできない。」

荒野を行くイスラエルの民が水がないと不平を言いました。神様がモーセに命令されました。

「つえを持って、行って岩に向かって『水を出せ』と言いなさい」

しかし、モーセはイスラエル民の前で怒りながら「私が水を出すのか?!」と声を出して、つえで岩を打ちました。モーセが神様の前で自分の感情を抑制できないあやまちをしたのです。結局、モーセはカナン
の地に入れませんでした。だれも律法を守ることによって天国に入ることができないことが分かる事件です。

しかし、モーセは失敗したわけではありません。モーセは過越の小羊の血で救われて、紅海を分けて、続いてイスラエル民を導きました。みなさんも自分の弱い姿にだまされて、あきらめてはなりません。キリストがあかしされることに弱い部分も用いられます。暗やみの勢力が逃げて御使いが助けてくれ、聖霊が導かれることを体験する祈りのまことの味を味わえば良いのです。

3 Today

★きょうの
みことは
しっばい
いれきたい17

★きょうの
いのり

★きょうの
でんどう

2011. 12. 18 (インマヌエル教会聖日 1 部)



いろをぬろう

感情にだまされたのですが、契約成就の中で、おおきな祝福を受けたモーセの働きを黙想しながら色をぬりましょう。



神様、すばらしくよくできることより、よくできなくて失敗することがもっと多いです。そして、ときどきがつかりして、座りこんでしまうこともあります。しかし、いまから、自分と権威を思い出して、立ちあがります。イエスさまのお名前によっておいのりします。アーメン



エパfrasのように なろう

コロサイ 4:13

わたしはあかしします。彼はあなたがたのために、またラオデキヤとヒエラポリスにいる人々のために、非常に苦労しています。

パウロ牧師先生が福音を伝えて「コロサイ」と「ラオデキヤ」「ヒエラポリス」という村に行くようになりました。この村は経済的にとても発展して、良く暮らしている所に見えたのですが、ほんとうは目に見えないように入り込んだ霊的問題で人が苦しんでいる所でした。パウロ牧師先生は、このような村にエパfrasという人を伝道弟子として立てました。彼は、その村にある教会のために祈りながら熱心に仕えた伝道者でした。特別に信徒が神様のみこころのなかで堅く立てられることを願いながら、切実に祈りました。

みなさんもエパfrasのように、すてきなイエス様の弟子になるべきでしょう。まず霊的な力を受けねばなりません。朝もう少し早く起きて、神様との特別な出会いを持ってください。みことばを黙想しながら神様のみこころを悟ったとすれば、そのみこころに従って生きていけるように祈ってください。そうすれば、みなさんは神様がくださる力を受けて、エパfrasのように他の人のために祈るすてきな弟子になるでしょう。

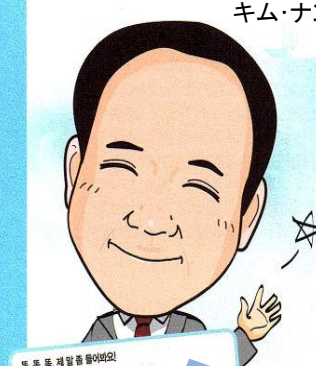
3 Today

きょうのみことば
11月8日
いちにち1しよりみことばをよもう！

きょうのいのり

きょうのでんどう

2011. 12. 18 (インマヌエル教会聖日 2部)



キム・ナンハ牧師先生とともに

ひそひそなやみをはなそう1

ともだちが異端です。
クリスマスが太陽の神の誕生日だと信じていて、旧約だけを信じています。
ほかの教会に行ったら
ぜったいにだめだということです。
どうすればよいのですか
バク・ジュヨン (ブندان・ハンビツ教会)

ともだちが
イエス様に会って救われることを願うレムナントの切実な心を主は知っておられるでしょう。イエス様の十字架の事件と復活によってサタンの権威が砕かれたのですが、サタンはまだ活動しています。子どもだとしても家庭環境や傷、親の宗教、人を通して、心と考えをどんどん満たしていくため、刻印されたことは一日でなくなったり解決されたりしません。レムナントのみんな！イエスを信じ始めて、友だち五人を伝道するために祈ったジョージ・ミュラーを知っていますか。52年祈った中で、それぞれの考えと習慣によって、まったく心を動かさなかった2人の友だちは、ミュラーが死んだという知らせと52年間祈り続けていたという知らせを聞いて悔い改めてイエス様を救い主として信じて救われました。私にある身分と権威がどれくらい大きいのかを知って、がっかりせずにみことばを握って祈りの中にいるならば神様がレムナントの現場を変えて行かれ、異端におちいったともだちもまた福音の中に立ち返ると信じます。



私もエパfrasのように他の人のために祈って働きをするすてきなイエス様の弟子になりたいです。みことばの黙想と祈りをとおして神様の特別な出会いを与えてください。たましいと心に十分な力を受けるように助けてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



かならず
たいけん
しなければ
なりません

使徒2:1~4

五旬節の日になって、みなが一か所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現われて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した。

お米が生米である状態を「ベータ（β）状態」と言います。ところが、ここに熱を加えておいしいご飯になれば「アルファ（α）状態」になります。ご飯は暖かいときはおいしいですが、冷めればまずいでしょう。ご飯が冷めればまたベータ状態に戻ります。私たちは、いつも霊的にアルファ状態にならなければなりません。生米に熱を加えるように聖霊に満たされて、福音のうまみを出す霊的状态にならなければなりません。神様はみことばを通して神様の子どもに聖霊の満たしを与えると約束されました。みなさんが一人での時間にも、この奥義を必ず体験しなければなりません。しかし、サタンはひっきりなく神様の子どもを問題の中でだまして倒そうとします。サタンにだまされないで、むしろサタンにかっこうよく勝ちましょう。難しい問題に会ったり、大変な環境でも、みなさんの中におられる聖霊様に新しい力を求めて祈っていきましょう。今、味わえる祝福の中のもっとも大きい祝福で、伝道者が受ける答えの中のもっとも大きい答えが聖霊の満たしということです。

Today

きょうの
みことば

『れきだい19

いかに1しゅう
かみさの みことばを はもう！

きょうの
いのり

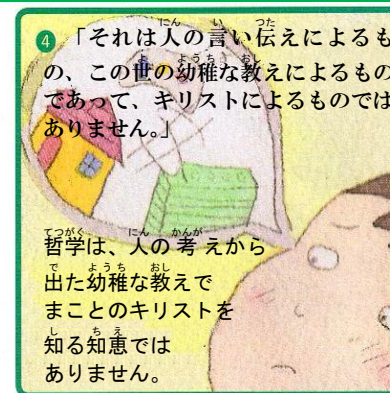
きょうの
でんどう

せいく100かしょを おぼえよう(7)

わたしの霊的な状態を聖霊で満たされるように、ひとりでいるとき、福音を黙想することができなければなりません。今日は聖句を覚えて、自分になぜ福音が必要なのか黙想してみましょう。



あのむなしい、だましごとの哲学によってだれのとりこにもならぬよう、注意しなさい。それは人の言い伝えによるもの、この世の幼稚な教えによるものであって、キリストによるものではありません。(コロサイ 2:8)



約束してくださった聖霊の満たしを私にください。神様がくださる力で私のすべての問題と環境を飛び越えさせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのります。アーメン

おとなに なりたいよ!

動物の村に、カメとウサギが住んでいました。二匹はなかよしだったのですが、性格は正反対だったのです。ウサギは何でもがんばる性格だったのですが、カメはまかされたこともあまりせずに、いつもなまけていました。ある日、村に雨がたくさん降って、川に作ったダムが崩れました。ウサギは、自分の家の前の庭をそうじするのに忙しくして、崩れたダムをまた立てるためにはだして出ました。

「ウサギくん、ダムが崩れたのは町の人々が知っていてするところなのに、なぜ君までそんなに熱心にするの」

茶の間に気楽に横になっていたカメがアクビをしながら尋ねました。

「ぼくは大きくなって立派なおとなになりたいんだ。ぼくができることならば最善をつくすよ!」

ウサギの返事にカメは、鼻の穴から鼻くそをほじくって、指でポンとはねながら答えました。

「立派な大人は、ただ時間が過ぎればなるんじゃないの。ぼくらはまだ子どもだよ」

シャベルを持って家を出て行くウサギを見ながら、カメは理解することができないと鼻で笑っていました。

何年かが過ぎて、ウサギとカメは、一人前のおとなになりました。

「こんにちは。ウサギさん! なにかありませんか」
ウサギは村のおとなになって、多くの人からほめられていたのですが、

「ああ、カメくん! 君はいつまでそうしているの」
カメはおとなになったのに、みんなに小言を言われました。

カメは、尊敬されてほめられるウサギがうらやましかったのです。年を取ったら、自然に立派なおとなになると思っていたのですが、実際におとなになっても、他の人を助けるどころか、小言だけ聞く自分がいやでした。カメは、ウサギにおとなになる方法をたずねてみたのです。ウサギの返事は簡単でした。

「立派なおとなになる方法は、今、私に与えられたことに最善をつくすことだよ」

カメは過ぎ去った時間を後悔しながら、今から小さいことにも最善をつくすことに決めました。

私は大きくなったら、どんなおとなになるでしょうか。神様と人に愛されるすてきなおとなになるために、今日、私とともにおられる神様を味わって、与えられた小さいことに最善をつくしてみましよう!

★きょうのみことば

【れきだい 20】

★いちにち 1しょう
かみさまの あこはを よめろ!

★きょうのいのり

★きょうのでんどう

